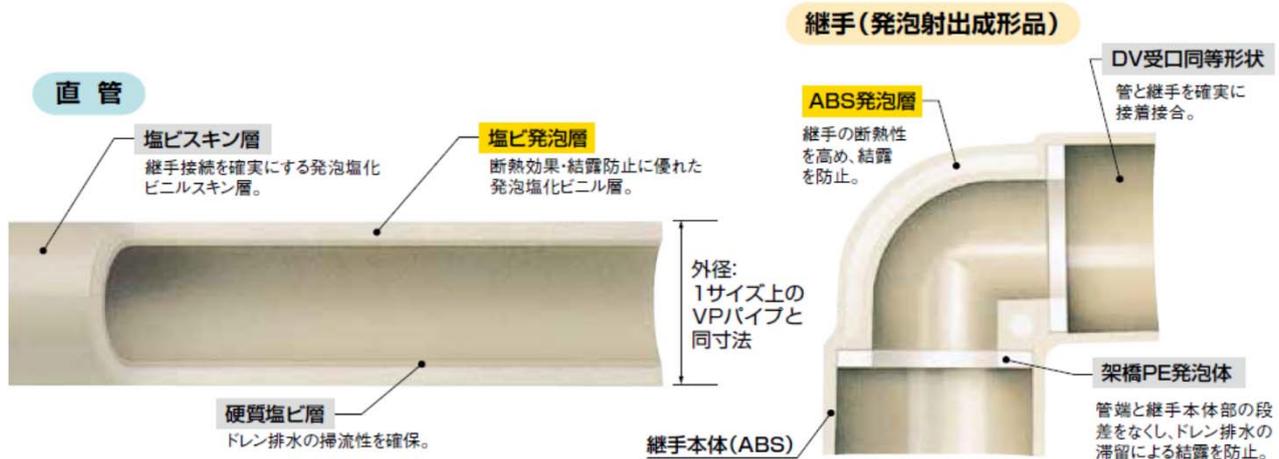


設備工事情報シート	空調	Ⅱ-A-24	制定	2017年3月1日
			改訂	
機器・材料	ACドレンパイプ・継手		積水化学工業編	

## 1. 概要

エスロンACドレンパイプは、空調ドレン用に開発された断熱層付き塩ビ管である。パイプは内層塩ビ管と発泡層を同時成形した複層管で、発泡層は断熱効果が高く、保温材の役割を果たし、継手も発泡層を一体成形しているため、保温工事的必要もない。



ACドレンパイプ、継手の構造

## 2. ACドレンパイプの特長

### (1) 種類

呼び径：20, 25, 30, 40, 50

### (2) 特長

#### ①配管と同時に保温工事が完了

管・継手とも保温材の機能を有しているため、配管と同時に保温工事が完了。保温工事的に関する部材調達・工程調整等の手間がかからない。

#### ②施工は従来のDV接続と同じで施工管理も容易

従来のDV接続と同様に施工が可能。保温材がないため配管の接続部や勾配が簡単に確認でき、施工管理が容易。また、透明継手により、施工後の目視点検が容易にできる。

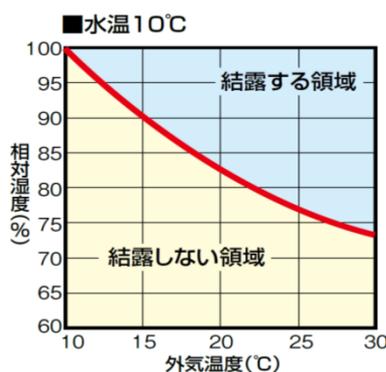
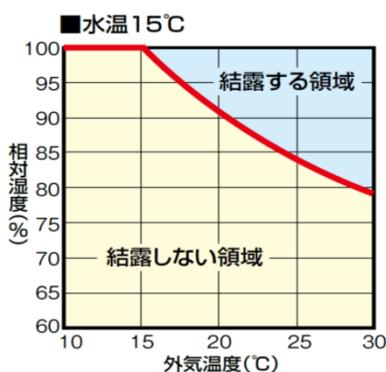
#### ③経済性が高い

施工が簡単なうえ保温工事が不要なため、経済的な管材である。



透明継手とブルー接着剤の組合せによる施工管理

## 3. ACドレンパイプの防露性能（呼び径25 流量3L/h 勾配1/50）



横引管使用時のACドレンパイプ・継手の性能である。ACドレンパイプ・継手をドレンアップ部のような満管となる部分に使用する場合は原則、別途保温材の巻き付けが必要。

# 資 料

## 4. 施工手順 (カタログ抜粋)

### 1 切断



ACDレンカッターで切断

塩ビ用のこぎりで切断

切断箇所は全周にわたってマーキング等を行い、ACDレンカッターまたは塩ビ用のこぎりを用いて管軸に直角に切断してください。

- ⚠ 割れやヒビが生じるので塩ビカッター等は、使用しないでください。
- ⚠ 斜め切れの場合は管端からドレン水が浸入し、管外面の微小な傷より漏水する恐れがあります。
- ⚠ 管に傷つき、へこみ、偏平がある場合はその部分を切断・除去してください。
- ⚠ ACDレンカッター (P6掲載) をご使用の場合は、ACDレンカッター付属の取扱説明書を必ずご参照ください。

### 5 接着剤の塗布



継手の内面と、管端面及び管の外面に、エスロン接着剤 (No.73Sブルー、No.75SブルーN、No.73S、No.75S、No.73S UV) を均一に塗布してください。

- ⚠ 透明ACDレン継手には必ず接着剤 No.73Sブルー、No.75SブルーN、またはNo.73S UVをご使用ください。
- ⚠ 継手内面、管外面だけでなく、管端にも接着剤を塗布してください。接着剤を塗布しない場合は管端からドレン水が浸入し、管外面の微小な傷より漏水する恐れがあります。

**管端面への接着剤塗布**

管外面への接着剤塗布

挿入標線

悪い例 (塗布ムラ)      良い例

### 2 面取り



管端を内外面とも糸面取りしてください。

- ⚠ 面がとれていないと、接続時受口部の接着剤を削りとってしまい、抜けの原因となるので、必ず糸面取りをしてください。

### 6 挿入



<アイボリー>  
できるだけすばやく、管を奥まで挿入してください。

<透明>  
できるだけすばやく、管を奥まで挿入してください。

### 3 清掃処理



継手受口内部や管差し口に付着した砂、土、ほこり等の汚れや水分等は乾いたウエスできれいに拭き取ってください。

### 7 保持 (接着剤の拭き取り・換気)



管が継手より抜け出なくなるまで管と継手を保持します。(30秒以上保持)  
また、はみ出した接着剤はウエスで拭き取ってください。  
また、施工後は配管内を十分に換気してください。

- ACDレンパイプの外径は呼び径に対し、1口径大きい塩ビ管の外径と同寸法になっていますので、支持金具等は塩ビ管用のものが使用できます。
- ACDレンパイプの支持は、同一呼び径の塩ビ管 (VP) と同一の間隔で設置してください。

### 4 挿入長さ記入



管差し口に、下表に示す挿入長さを記入してください。

参考) 挿入長さ (標線記入長さ)	単位:mm					
呼び径	20	25	30	40	50	
挿入長さ	19	19	23	26	36	

## 5. 使用上の注意事項

- ・ ドレンアップ部 (1m以下) 以外での圧力管用途へは絶対に使用しない。
- ・ 屋内専用の管材なので屋外には使用しない。
- ・ 防火区画貫通箇所では、熱膨張性耐火シートによる防火区画貫通処理が必要。
- ・ クレオソート、アスファルト、防腐剤、防水剤、ケトン類、ひまし油やグリコールエーテル系の有機溶剤に管・継手が触れると、膨潤し破壊する恐れがあるので、管や継手に塗布したり、触れないようにする。
- ・ その他、詳細はカタログ、技術資料を参照すること。

## 6. 問い合わせ先

積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー

### 東北支店

設備システム営業所 022(217)0608  
北東北事業所 019(624)6000

### 東日本支店 建築営業部

東京設備システム営業所 03(5521)0641  
関東設備システム営業所 048(646)0160  
横浜営業所 045(474)1810  
静岡営業所 054(275)0720  
甲信営業所 0263(38)1220  
東関東営業所 04(7130)0010

### 中部支店

設備システム営業所 052(957)5303

### 西日本支店

近畿設備システム営業所 06(6365)4502  
中国設備システム営業所 082(224)6251  
北陸営業所 076(231)4245  
京滋営業所 075(662)3418  
四国営業所 0897(57)9125

### 九州支店

設備システム営業所 092(271)1314

### 積水化学北海道(株)

営業本部 011(737)6330